

各位

神戸市教職員組合

執行委員長 藤高 博章

## 第68次神戸市教育研究集会のご案内

拝啓 ますます清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、弊組合は、校種や地域を越えた交流を目的とした「第68次神戸市教育研究集会」を下記の要領で開催いたします。教育について様々な立場の方々と、教育について議論を深めてまいりたいと存じます。皆様方にもご参加いただきたく、ご案内させていただきます。

ご参加いただける方は、本紙及び別紙「教研だより」をご覧の上、参加申込書にてお申し込みいただきますよう、よろしく申し上げます。

敬具

### 記

- |        |          |             |
|--------|----------|-------------|
| 1. と き | 8月24日(金) | 12:30~13:00 |
|        |          | 13:00~14:30 |
|        |          | 15:00~17:00 |

2. と こ ろ 神戸市教育会館(受付)・ラッセホール

〒650-0004

兵庫県神戸市中央区中山手通4-10-5

TEL 078-242-6624

FAX 078-221-8622

※神戸市教育会館で受付をしております。まず、受付にお越してください。

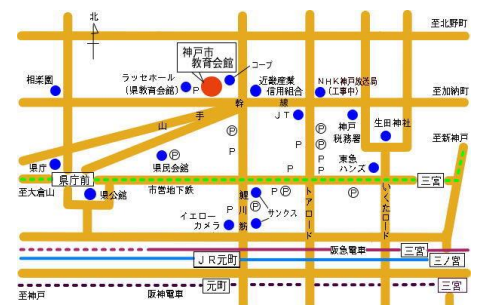
### 3. 全体会講師

- ・講師 <sup>さとう</sup>佐藤 <sup>としろう</sup>敏郎 さん (スマートサバイバープロジェクト特別講師)

<プロフィール>

1963年、宮城県石巻市生まれ。宮城教育大学卒業後、中学校の国語科教諭として宮城県内の中学校に勤務(2002年から3年間は女川町生涯学習課勤務)。2015年3月退職。

東日本大震災当時は、宮城県女川第一中学校(現在の女川中学校)に勤務。震災後の



2011年5月、生徒たちの想いを五七五に込める俳句づくりの授業を行い、テレビ、新聞、書籍等で紹介される。2016年度の中学校1年生の教科書にも掲載されることになった。

震災後は女川中学校、矢本第二中学校で防災担当主幹教諭、宮城県の防災教育副読本の編集委員も歴任。

震災で当時大川小学校6年の次女を亡くす。2013年末に「小さな命の意味を考える会」を立ち上げ、現在は、全国の学校、地方自治体、企業、団体等で講演活動を行う。2015年からは、震災当時小学生だった高校生が若者とディスカッションを行う企画「あの日を語ろう、未来を語ろう」を各地で展開。2016年「16歳の語り部」（ポプラ社）を刊行、「平成29年度 児童福祉文化賞推薦作品」を受賞。

小さな命の意味を考える会代表、NPO KIDS NOW JAPAN 理事、NPO カタリバ アドバイザーの他、東北放送ラジオ（2016年3月までは女川さいがいFM）のパーソナリティーとしても活動中。文科省委託事業「いのちを語り継ぐ会」講師。

#### 4. 分科会

No.2	外国語教育	No.20	評価選抜制度と進路指導
No.9	保健	No.21	教育課程
No.13	人権教育	No.22	学校・地域における教育改革運動
No.14	特別支援教育	No.23	教育条件整備の運動
No.17	食教育	特1	防災・減災教育
No.18	平和教育	特2	多忙化解消・業務改善に関するとりくみ
No.19	情報社会の教育と文化活動	特3	総務・学習指導担当教員(小学校)の役割について

※ リポート発表内容等については、別紙「教研だより」をご覧ください。

## 第68次 神戸市教育研究集会 参加申込書 (FAX)

お名前	
ご所属	
全体会 (13 : 00～)	・ 参加する      ・ 参加しない
分科会 (15 : 00～)	No. (      ) 分科会名 (      )

※分科会の会場等については、は当日の資料でお知らせします。

神戸市教職員組合 書記局 FAX 221-8622 (担当：中谷・石原)

※このままFAXしていただいてもかまいません。